



アンインストール

ここでは、次の内容について説明します。

- [クラスタインストーラを使用した VM の削除](#) (1 ページ)
- [Crosswork アプリケーションのアンインストール](#) (2 ページ)
- [Cisco Crosswork から Crosswork Data Gateway VM を削除する](#) (3 ページ)
- [vSphere UI を使用した VM の削除](#) (4 ページ)
- [Cisco CSPからの Crosswork Data Gateway サービスの削除](#) (5 ページ)

クラスタインストーラを使用した VM の削除

インストーラが失敗した場合は、クラスタインストーラツールを使用して、クラスタの状態に基づいて以前に作成した VM をクリーンアップするか、または削除します。これは、展開が失敗した場合の重要なアクティビティです。VM 設定または DC ホストに変更を加えた場合は、再展開の前にクリーンアップ操作が必要です。



(注) クリーンアップ手順は、vCenter 展開と CSP 展開の両方で同様ですが、唯一の例外は CSP クリーンアップの実行時に「-t csp」オプションを追加することです。



(注) インストーラ クリーンアップ オプションは、/data ディレクトリ内のインベントリに基づいてクラスタ展開を削除します。

ステップ 1 展開情報を保存するディレクトリを入力します。

たとえば、`_cd ~/cw-cluster` などです。

ステップ 2 ホストでコンテナを実行します。

```
docker run --rm -it -v `pwd`::/data <cw-installer docker container>
```

(注) CSP クリーンアップの実行時に「-t csp」オプションを追加します。

ステップ 3 テンプレートファイルのコピー (v4.tfvars など) をテキストエディタで編集し、データセンターのアクセスパラメータを追加します。残りのパラメータには、ダミー値を指定するか、または操作の実行時にコマンドラインで入力できます。

ステップ 4 -m フラグを使用して、_cw-installer.sh install_ スクリプトを clean ディレクトティブとともに展開マニフェストで実行します。次に例を示します。

```
./cw-installer.sh clean -m /data/deployment.tfvars
```

ステップ 5 プロンプトが表示されたら「yes」と入力して操作を確認します。

ステップ 6 (オプション) VM の削除に加えて、-o オプションを clean ディレクトティブに追加すると、データセンターから Cisco Crosswork イメージテンプレートも削除されます。

例:

```
./cw-installer.sh clean -m/data/deployment.tfvars -o
```

ステップ 7 (オプション) クラスタを迅速に (検証なしで) クリーンアップするには、次のコマンドを使用してインストーラを実行します。

```
docker run --rm -it -v `pwd`::/data <cw installer docker image> -exec './cw-installer.sh clean -m /data/deployment.tfvars'
```

Crosswork アプリケーションのアンインストール

ここでは、Crosswork GUI を使用してアプリケーションをアンインストールする方法について説明します。



(注) [アンインストール (Uninstall)] オプションは、アプリケーション、関連付けられたデータおよびサービス (アプリケーション固有のメニュー、UI など) を削除します。



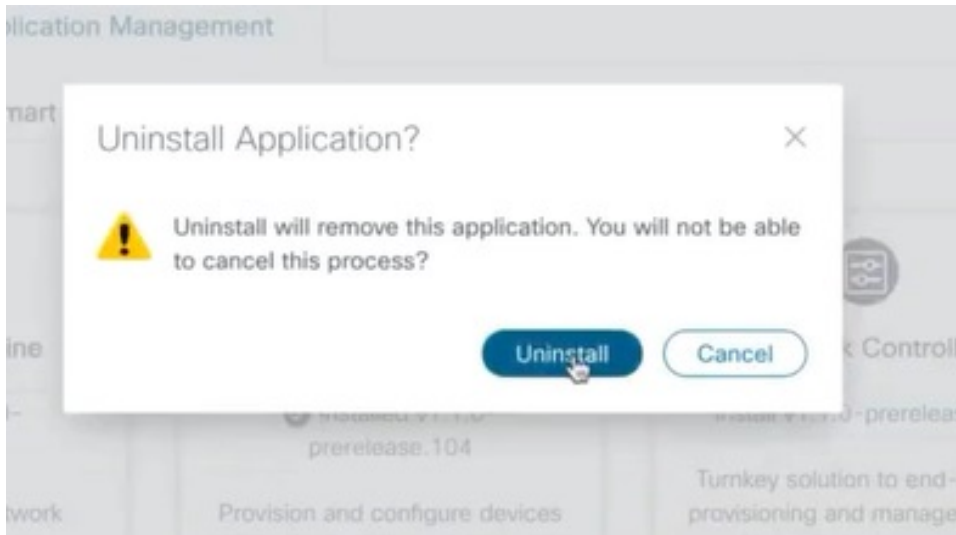
(注) Crosswork プラットフォーム アーキテクチャは非アクティブにできません。

ステップ 1 [管理 (Admin)] > [Crosswork の管理 (Crosswork Management)] をクリックし、[アプリケーション管理 (Application Management)] タブを選択します。

Crosswork プラットフォーム インフラストラクチャと追加されたアプリケーションは、ここにタイルとして表示されます。

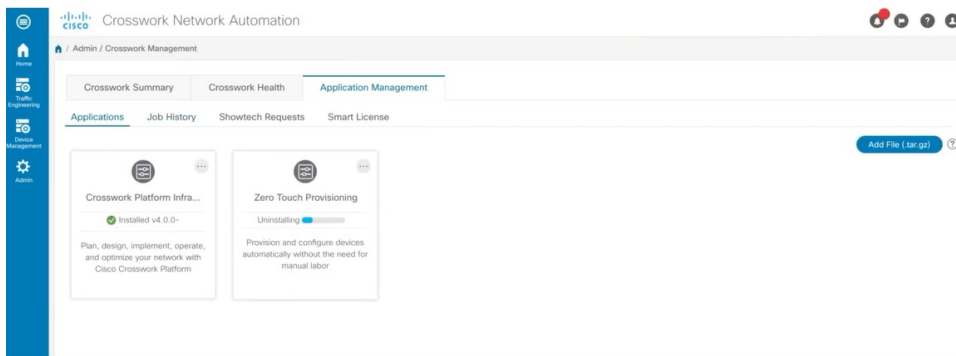
ステップ 2 アンインストールするアプリケーションタイルで[...] をクリックし、ドロップダウンリストから [アンインストール (Uninstall)] オプションを選択します。

アクションを確認するためのポップアップが表示されます。



ステップ 3 [アンインストール (Uninstall)] をクリックして確認します。

選択したアプリケーションがアンインストールされ、同じ内容を反映するようにアプリケーションタイトルが変更されます。



(注) アンインストール操作では、リポジトリから CAPP ファイルは削除されません。ユーザが将来インストールする場合に備えて、CAPP ファイルは UI に表示されたままになります。

Cisco Crosswork から Crosswork Data Gateway VM を削除する


始める前に

削除する Crosswork Data Gateway VM はメンテナンスモードである必要があります。

ステップ 1 Cisco Crosswork にログインします。

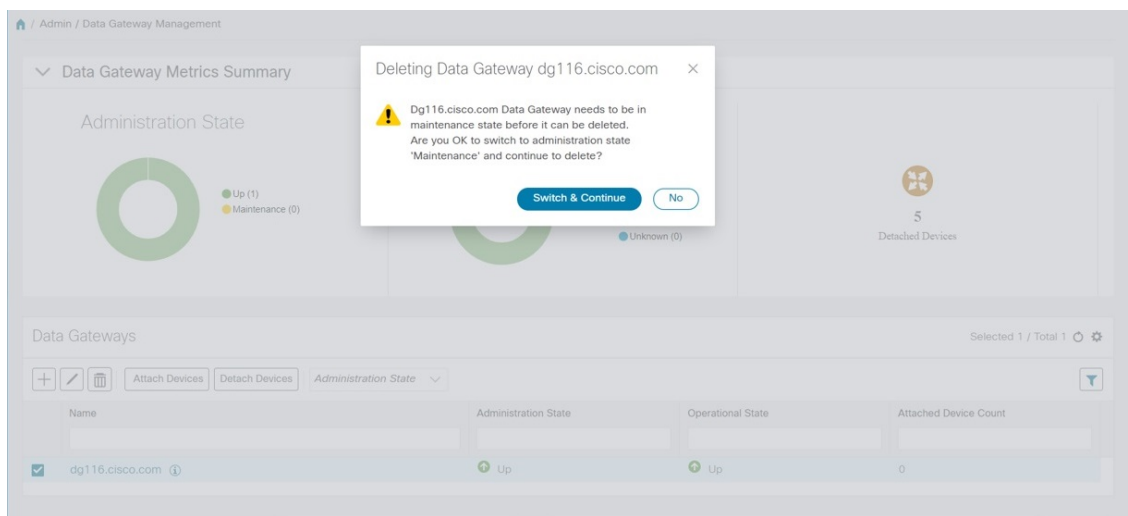
ステップ 2 ナビゲーションパネルから、[管理 (Administration)] > [Data Gateway の管理 (Data Gateway Management)] を選択します。

[仮想マシン (Virtual Machines)] タブをクリックします。

ステップ 3 [仮想マシン (Virtual Machines)] リストで、削除する Crosswork Data Gateway VM を見つけ、[アクション (Actions)] 列の下にある  をクリックします。

[削除 (Delete)] をクリックします。

ステップ 4 Crosswork Data Gateway VM がメンテナンス状態になっていない場合は、Cisco Crosswork によってメンテナンス状態に切り替えるように求められます。[メンテナンスに切り替えて続行 (Switch to maintenance & continue)] をクリックします。



Crosswork Data Gateway VM が削除されます。

vSphere UI を使用した VM の削除

この項では、vCenter から VM を削除する手順について説明します。この手順は、アプリケーション Cisco Crosswork VM を削除するために使用されます。



- (注)
- この手順では、すべてのアプリケーションデータが削除されることに注意してください。
 - **Crosswork Data Gateway の削除のみを行う場合は、次のことを実行しておく必要があります。**
 - 削除する Crosswork Data Gateway VM からデバイスを切り離します。Crosswork Data Gateway からデバイスを切り離す手順については、『*Cisco Crosswork Infrastructure 4.0 and Applications Administration Guide*』の「*Delete Cisco Crosswork Data Gateway VM from Cisco Crosswork*」の項を参照してください。
 - [Cisco Crosswork から Crosswork Data Gateway VM を削除する \(3 ページ\)](#) の説明に従って、Cisco Crosswork から Crosswork Data Gateway VM を削除します。

ステップ 1 VMware vSphere Web クライアントにログインします。

ステップ 2 [ナビゲータ (Navigator)] ペインで、削除するアプリケーション VM を右クリックし、[電源 (Power)] > [電源オフ (Power Off)] を選択します。

ステップ 3 VM の電源がオフになったら、もう一度 VM を右クリックし、[ディスクから削除 (Delete from Disk)] を選択します。

VM が削除されます。

Cisco CSPからの Crosswork Data Gateway サービスの削除

Cisco CSPから Crosswork Data Gateway サービスを削除するには、次の手順を実行します。

始める前に

Crosswork Data Gateway VM を削除する前に、必ず次を実行してください。

- 削除する Crosswork Data Gateway VM からデバイスを切り離します。Crosswork Data Gateway からデバイスを切り離す手順については、『*Cisco Crosswork Infrastructure 4.0 and Applications Administration Guide*』の「*Delete Cisco Crosswork Data Gateway VM from Cisco Crosswork*」の項を参照してください。
- [Cisco Crosswork から Crosswork Data Gateway VM を削除する \(3 ページ\)](#) の説明に従って、Cisco Crosswork から Crosswork Data Gateway VM を削除します。

ステップ 1 Cisco CSP にログインします。

ステップ 2 [設定 (Configuration)] > [サービス (Services)] に移動します。

[サービス (Service)] テーブルにサービスの現在のステータスが表示されます。

ステップ 3 [サービス名 (Service Name)] 列でサービスインスタンスを見つけ、[アクション (Action)] 列の下にある [削除 (Delete)] をクリックします。
